

平成23年度 第2回三条市食育推進及び農業振興審議会会議録

- 1 日時 平成24年2月24日(金) 午後1時25分～午後3時20分
- 2 会場 三条東公民館 多目的ホール2
- 3 協議題
議題
(1) 第2次三条市農業活性化プランについて
- 4 報告事項
(1) 平成23年度三条市農業活性化プラン推進事業実施状況
(2) 平成23年度三条市食育推進計画 事業実施状況
(3) 平成24年度三条市農業活性化プラン推進事業計画
(4) 平成24年度三条市食育推進計画 事業計画
- 5 出席状況
(1) 出席委員
粟生田委員、上村委員、皆川委員、外山委員、豊岡委員、星野委員、渡邊委員、小山委員、
小林(武)委員、六原委員
(2) 欠席委員
西委員、小林(茂)委員、樋口委員、五十嵐委員
(3) 事務局職員
福祉保健部長 渡辺一治
健康づくり課 課長 波多野悠子、主幹 捧裕一朗、室長 田村直、主任 相沢薫、
技師 大泉千裕
農林課 課長 平岡勝司、室長 板垣和弥
(4) 傍聴者 なし
(5) 報道機関 なし
- 6 開 会

粟生田会長	ただ今から、平成23年度第2回三条市食育推進及び農業振興審議会を開催いたします。
	本日の出席は、定員15人のところ、欠員が1人、出席10人、欠席4人で定員の過半数の出席であり、三条市食育推進及び農業振興審議会規則第3条の2に基づき、会議が成立しております。
	それでは、議題に入る前に福祉保健部長からあいさつをお願いします。
福祉保健部長	～あいさつ～ 水害における農林業分野の被害復旧作業のため「第2次農業活性化プラン」が来年度策定になったこと、また本日の議題である平成24年度農業活性化プラン推進事業計画については現在のプランを尊重した中での計画であるとあいさつした。

栗生田会長	<p>ありがとうございました。それでは次第に基づき進めさせていただきます。</p> <p>議題(1)「第2次三条市農業活性化プランについて」事務局の説明を求めます。</p> <p>なお、これにつきましては報告事項(3)、(4)に関連するということですので、あわせてお願いします。</p>
板垣室長	<p>議題(1)並びに、報告事項(3)、(4)をあわせて説明させていただきます。</p> <p>(当日配布資料1、2及び資料No.3、4について説明)</p>
栗生田会長	<p>「第2次三条市農業活性化プランについて」質問も含めてご発言をお願いします。</p>
六原委員	<p>当日配布資料2の市場ピッキングセンターとはどのような施設なのでしょう。</p>
板垣室長	<p>三条中央青果市場の敷地内にある施設です。ダンボール箱に入れて大量入荷された野菜を小分け包装する場所です。これまでもあった施設ですが、倍の大きさに広げたところです。どのくらいの価格で、どのくらいの量を入れると一番売れるのかという情報を一番持っています。そこで農業者に気軽に持ち込めるようになったことを周知し、生産を促すことで市内流通を盛んにさせようという考えで取組んでいます。</p>
六原委員	<p>そこで買えるという場所ではないのですね。</p>
板垣室長	<p>はい、違います。</p>
小林(武)委員	<p>当日配布資料2に「ナノミスト発生装置の果樹鮮度保持研究」とありますが、ナノミストは現在使われているのでしょうか。それともこれから使おうということなのでしょうか。</p>
板垣室長	<p>ナノミスト試験自体は平成24年で3年目になります。市内企業が開発したもので、霧状のマイナスイオンで果物を長持ちさせる施設です。旬の時期をずらして出荷できます。たとえばレクチエは12月が最盛期ですが、少し時期をずらすことで1、2月の出荷ができ、評判で高値で売れます。現在実験しているものはJAが委託を受けて、渡辺農園さんで実施しています。</p>
栗生田会長	<p>それでは、ほかになければ、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>説明があったように、今年度は災害があつてなかなか事業が進められなかったと思いますが、三条市の食育と農業が推進できるように建設的なご意見をお願いしたいと思います。</p>

栗生田会長	<p>～しばらくして異議なし～</p> <p>異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p>
栗生田会長	<p>次に報告事項(1)「平成23年度 三条市農業活性化プラン推進事業実施状況」について事務局の説明を求めます。</p>
板垣室長	<p>(資料No.1について説明)</p>
栗生田会長	<p>「平成23年度 三条市農業活性化プラン推進事業実施状況」について質問も含めてご発言をお願いします。</p>
豊岡委員	<p>項目3の人材育成について質問します。認定農業者の数が平成24年に減っている主な原因を教えてください。また、そのうち女性が何人いるのか、また市や県が関わるメリットはあるのでしょうか。</p>
板垣室長	<p>将来的に人数が減るという計画でした。大規模化を目指した中で耕地面積を広げることで認定農業者は減るだろうということで予想していました。女性の認定農業者については現在資料が無いので、後ほど報告させていただきたい。また、この事業自体が農業を実施するための融資を受けやすくなるというメリットがあります。</p>
六原委員	<p>項目3の人材育成について質問します。優れた農業経営者を育成するとありますが、新たに農業をしたい人への支援ではないですね。例えば、家で農業をしていないと田んぼや畑がないので、やりたくてもできない状況がありますので。</p>
板垣室長	<p>認定農業者は市が承認した中でなれるもので、ある程度大規模農業者になります。田畑が無く、まず経験したい方は貸し農園などで参加してもらい、勉強してもらうことになります。</p>
豊岡委員	<p>項目4の地産地消について質問します。ただ郷交流拠点検討委員会があり、農家レストラン検討部会があがっていますが、具体的にどのような内容なのでしょうか。</p>
板垣室長	<p>現在の悟空に国の支援をうけて直売所建設を考えており、付属のソフト事業を展開予定です。</p>
豊岡委員	<p>悟空は農家の方がやっていると聞いたが、支援等はあるのでしょうか。去年は、数量限定で農家のごちそうメニューが提供されていました。確かにごちそうだったのですが、天ぷらだけで3人前程あり、中高年には食べるのが難しい状況でした。</p>

板垣室長	<p>現在は量よりも質が問題だと思います。農家レストランをするのであれば、悟空にはもっと力を入れてほしいと思います。そうすればもっと観光客がくるのではないのでしょうか。</p>
福祉保健部長	<p>ありがとうございます。検討委員会に伝えておきます。</p>
福社保健部長	<p>ただ郷交流拠点検討委員会について、足りないのはリピーターであると考えています。悟空の隣に諸橋徹次記念館もございますが、その一帯の交流人口を増やし、また来ていただくため、レストランの仕組や農産物直売の手法を検討しております。また、農産加工品を販売する手法について、同じ経済部でも営業戦略室で検討委員会をもっており、三条商工会や下田商工会など様々な方から協力いただいております。ご指摘いただいたところを含めた中で検討が進んでいくものと思います。来年度には方向が示される予定です。</p>
外山委員	<p>項目2の販路開拓について質問します。三条産のお米を横浜や荒川に販売されていることがわかるのですが、三条市の学校給食ではどのくらい消費しているのでしょうか。また、三条市のコシヒカリの収穫量はどのくらいで、どのくらい三条市で消費しているのでしょうか。</p>
田村室長	<p>学校給食で使用している米の量は150～160tです。</p>
板垣室長	<p>コシヒカリ生産量については後ほど調べて報告させていただきます。</p>
小林(武)委員	<p>2の販路開拓について質問します。荒川や横浜等へ米を売っているようですが、三条産コシヒカリを炊くときに下田の千年悠水で炊くとおいしいので、一緒に販売してはいかがでしょうか。</p>
板垣室長	<p>水道水に比べ、単価が高めになってしまいますので難しいかと思います。</p>
小林(武)委員	<p>三条の水を県外に持っていき、ペットボトルに詰めていると思いますが、近くで詰める作業はできないのでしょうか。遠くに持っていくのは経費がかかると思います。また、販路開拓のためであれば、米だけでなく水と一緒に販売するほうが有効だと思います。</p>
福祉保健部長	<p>ただいまの千年悠水に関するご意見について、三条市の貴重な財産と考えております。水道局で販売するにあたり、秩父の工場でペットボトルに詰める水に加工をしております。規模を考えますと、全国展開するには大量に製造する必要があり、施設整備すると相当なコストがかかります。水道局で販売先を交渉しております</p>

	<p>し、農産物とあわせた販売も必要だと考えております。貴重なご意見ありがとうございます。</p>
栗生田会長	<p>水を動かすには食品衛生法が関わるかと思いますが、条件はクリアしていますか。</p>
福祉保健部長	<p>水道局で全て許可を得て行っております。</p>
栗生田会長	<p>全国各地よい水が出ますので、産地間競争で、負けるようだと撤退したほうがよいです。その辺の駆け引きを調査して事業展開されたほうが良いと思います。</p>
福祉保健部長	<p>ただいま今のご意見は大事だと思います。全国展開している水に太刀打ちすることは難しく、今は良いものがあるという紹介をさせていただいているところです。ただ今の会長のご意見は水道局につないでまいります。</p>
上村委員	<p>ナノミストによる果実鮮度保持研究事業について、以前から聞いてはいましたが、実際の効能はあるのでしょうか。</p>
板垣室長	<p>通常、ルレクチェは12月末で旬が終わりますが、ナノミストによって2月まで食べることができます。売上等は後ほど調査して報告させていただきます。</p>
六原委員	<p>千年悠水について、ラベルなど地元独特のストーリー性のあるものを表示するとより人の気持ちが動くのかなと思います。</p> <p>もうひとつ、人材育成について、柿崎では法人で農業を行っているようで、農家でない人が就職して給料制であるとのこと。三条でも法人はあるのでしょうか。農家でなくても、興味があれば農業が出来るよう、ハードルを下げることなども手段の一つだと思います。農家は一生懸命やっても高齢化しているので、できるだけ農業者を育てるような取組をお願いしたいのですが。</p>
福祉保健部長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。現在、農業従事者は全体の4%程度しかいない状況です。少子高齢化に伴い農業を継続する人がおりませんので、多様な担い手を確保するということが大切です。互いにうまく連携していくことが大切です。また、法人や企業等とうまく整合しながら取組んでいくこと、これが第2次農業活性化プランの肝になると考えております。食料を誰が作るのか、また担い手も確保しなくてはならない。若い方を対象とした農業体験も計画しておりますが、そこから積み上げていかなくてはならないと考えております。これから委員さんからご意見いただきながら第2次農業活性化プランの内容を検討していきたいと思っております。</p>

六原委員	ノウハウを持っていらっしゃる農家の方は高齢化していますので、無くならないうちに早く伝承できる体制を整えていただきたいと思います。
福祉保健部長	なるべく早く取組みたいと思います。
平岡課長	農業法人につきまして、現在三条市で35の法人があります。農家を集約してどんどん大きくしていこうという計画です。新規就農について、最初2年間は研修等のため年間150万円補助し、就農しましたら5年間補助をする制度を平成24年度から実施します。また、農地法の関係で一般の方は農地をもてない現状があります。最低5反買わないと農家になれないので、一般では難しく新規就農の障害になっています。そのため市民農園などで体験してもらっている現状です。
栗生田会長	ただいまの議論は三条市の農業を活性化するための重要なポイントになるかと思えます。一問一答でなくとも、委員の皆様から意見をいただけるとありがたいです。
小林(武)委員	柏崎のほうで、異業種の方が農業に取り組んでいる事例を聞いたことがあるので、失敗等もあるだろうが、就農に関してそれほど心配しなくてもよいと思います。
渡邊委員	子どもが学校教育田の実習をしたのですが、夫の実家の田んぼの手伝いをした際に、教育田で習ったことに挑戦していました。まだ学校教育田をしていない学校もありますが、市のほうで強制してやるものとは違うのでしょうか。
板垣室長	協力していただける田んぼと農家がなくてはできません。なるべく協力をお願いしていきたいです。
渡邊委員	給食が完全米飯になったこととも関連しますし、夫の実家で農作業が難しくなった時に子どもたちが手伝ったりすることもできると思います。できれば自分で食べる分を自分で作るという体験をさせてあげたいと思います。ぜひ小学校のうちに作る体験をたくさんさせていただけると、子どもの目も変わってくると思います。また、先ほどの下田の道の駅について、悟空で調理補助をしていた親戚の話では、農作物がないときは農産物加工品を主に販売するらしく、活気がない感じになるということです。ぜひ悟空の整備について力を入れた取組をお願いします。
平岡課長	学校教育田について、協力者がいないと難しいのですが、交渉を行っているところです。下田の交流拠点について、今年の秋から工事が始まり、リニューアルする予定です。リピーターが大勢来るような内容ですすめております。

星野委員	地産地消をすすめていられるようですが、地産外消は考えていただけないのでしょうか。
板垣室長	ただいまの意見について、外への販売は行っておりますが、地元で食べられないと良くないということで地産地消をすすめているところです。 また、先ほど六原委員から水に関する意見がありましたが、水道局へ提案したいと思います。水自体は全国に例を見ない軟水で、料理の味を引き立てる水という特徴があります。
六原委員	軟水はどう体によいのか正しい知識がないので、やわらかい水だということしか分からないのですが。
福祉保健部長	千年悠水につきまして、これ以上の質問に関しまして所管ではありませんので、できませんが、よいご質問だと思います。先ほどの米の生産量及び学校給食使用量、ナノミスト関係、水の効用について資料を後ほど配布させていただきたいと思えます。
栗生田会長	ナノミストを使ってルレクチエ等の出荷時期が長くなると、糖度等が変化しないかもデータがあればお願いします。 それでは、他になければ、以上で質疑を終了させていただきたいと思えますがいかがでしょうか。 ～しばらくして異議なし～
栗生田会長	異議なしと認め、質疑を終了いたします。 報告事項(2)「平成23年度 三条市食育推進計画 事業実施状況」について事務局の説明を求めます。
大泉技師	(資料No.2について説明)
栗生田会長	「平成23年度 三条市食育推進計画 事業実施状況」について質問も含めてご発言をお願いします。
小林(武)委員	保育所食育推進事業で肥満児が増えたとのことですが、福山市では肥満防止のためカロリー少なめの粗食給食を提供しているということですが。三条市でも肥満防止のためにカロリーの低い給食を出されてはいかがでしょうか。
田村室長	福山市の取組については勉強させていただきたいと思えます。三条市の保育所給

豊岡委員	<p>食はごはんを持ってくる中で、野菜たっぷりで天然だしを使った健康的な給食を提供しています。保育所で食べる食事は全体の4分の1程度で家庭での食事が大切だと思います。保護者への取組、肥満児への個別指導をさらに重点的に進めていきたいと思っています。</p> <p>先日、保育所へ食生活改善推進委員（以下「食推」）の活動で伺ったが、先生から話を伺うと朝食を食べてこない子どもが2割いるようで、共稼ぎの家庭は朝食をしっかりと食べさせることは難しいと思います。給食で栄養を補っていると思うので、粗食にすると保護者から反感がくるのではないかと思います。実際に食べてみても大変おいしかったです。子どもたちを見てもそれほど肥満の子どもがいなかったように思います。給食は変えなくても良いのではないかと思います。</p>
六原委員	<p>三条市の学校給食は本に取り上げられる程とても優れていると思います。学校の低学年で給食の試食会があり、PTAでお願いして企画しています。肥満は給食のせいではなく、おそらく家に帰ってからの食事で肥満になるのではないかと思います。通学合宿に参加させてもらったことがあります。食推さんが作ってくださった料理は野菜たっぷり、子どもたちが食べなさそうなものでも完食していました。規則正しい生活ですごく良い機会だと思ったので、体験させるような親子での食育教室は良いと思いました。また、肥満については家庭の問題が大きいと思いますので、お母さん方に働きかけをお願いしたいです。</p>
田村室長	<p>お母さん方への取組は保育所の食育講座を実施しますと、9割を超えた参加がありますし、乳幼児健診でも取組んでおります。ただ、学校に入りますと参加が少なくなるので、子どもが小さいうちに働きかけを行いたいと思います。また、今年度初めて実施しました子育て応援給食試食会も、就学前の保護者への働きかけを目的として実施しました。引き続き実施したいと思います。</p>
六原委員	<p>子どもが小さいと食に目が向けられるが、大きくなると別の悩みが増えるので、手が離れてしまいます。小さいうちに事業を行うと良いですし、中学生になると体形を気にして食べなくなります。そのあたりを体験活動等で働きかけをお願いしたいと思います。</p>
田村室長	<p>5ページを見ていただきますと、小5～中1に働きかけを行っています。低中学年については試食会を通じて保護者講話を実施しています。高校生へも少しずつ取組を行っていますので、学校の中でも恒常的に食育ができるように働きかけているところです。</p>
渡邊委員	<p>PTAの講演会の後で出た話だが、学校給食はありがたい、中学になっても試食会はできないのだろうかという提案がありました。ただ試食するだけでなく、食事につ</p>

	<p>いてお話いただけるとありがたいです。</p>
田村室長	<p>市の許可は必要ないので、学校で希望を出していただきたいと思います。また併せて講話の希望もお願いしたいと思います。</p>
皆川委員	<p>少ないスタッフでこれだけの事業をされたのは素晴らしいことだと思います。確認なのですが、キッズ健康講座の参加者はどのように募ったのでしょうか。また、保育所巡回指導の指導目標の中に「4つのグループの料理」とありますが、どのような指導内容なのでしょうか。もう1点は、学校食育推進事業の個別指導において、小中学校で多くの児童保護者に指導されていますが、血液検査結果において何が問題で、どのようであったかを教えてください。</p>
田村室長	<p>1点目、キッズ健康教室については、保育所の肥満等発育調査において肥満と判定された子どもの保護者に、保育所を通じて直接案内を渡しました。2点目、保育所巡回指導の指導目標にある4つのグループの料理は主食、主菜、副菜、汁物です。お膳の形に沿った指導をしております。3点目、学校における血液検査の項目は貧血、脂質異常症です。要指導以上の子どもの割合ですが、貧血は小学5年生で22.7%、中学1年生で27.0%です。脂質異常症は小学5年生で10.9%、中学1年生で9.8%です。そのほかに肥満についても指導対象としています。保護者からは必ず出席いただき、子どももできるだけ同席してもらおうようにしています。</p>
皆川委員	<p>少ないスタッフでこれだけ事業をするのは大変かと思います。栄養士会としても協力できることがあれば、させていただきたいと考えています。</p>
田村室長	<p>ありがとうございます。データについてはホームページでも公開しておりますのでご覧ください。</p>
上村委員	<p>血液検査結果について、平成19年に比べると改善が見られるということですが、具体的な数値を聞かせてください。</p>
田村室長	<p>それぞれ平成19年度から平成23年度の数値の順に説明します。肥満について、小学5年生で12.3%が8.8%、中学1年生で12.7%が9.1%。貧血について、小学5年生で26.8%が22.7%、中学1年生で29.4%が27.0%。脂質異常について小学5年生で12.5%が10.9%、中学1年生で11.5%が9.8%。これらの総合判定は小学5年生で43.1%が37.8%、中学1年生で43.5%が39.5%になっています。</p>
上村委員	<p>これは立派な数値だと思います。</p>

<p>小山委員</p>	<p>これだけ様々な事業をされていることはすごいことだと思います。食育推進のために保護者への働きかけが欠かせないとのことですが、様々な場面で指導されていると感じました。当方でも平成23年度に食育普及事業を実施し、体験を通じて食に対する理解を深めることは有効だと思いましたので、三条市でも続けていってもらいたいと思います。また、3つの目標を掲げて取組されているとのことですが、今年度どの程度目標に近づいているのか、どのような課題があったか簡単に教えていただきたいと思います。</p>
<p>田村室長</p>	<p>今データを集め、まとめている最中です。5月の審議会でお示ししたいと思います。成果の波はありますが、長い目で見ると良くなっていると感じています。</p>
<p>栗生田会長</p>	<p>食育と農業を一緒にしているということが、子どもたちの健康と地域の振興につながっているという素晴らしさがあります。これはなかなか真似できるものではないと思います。ぜひトップランナーとして前に進んでもらいたいと思います。</p>
<p>小林(武)委員</p>	<p>「手塩にかける」ということは、塩とごはんがあればできることで、母親の愛情がこもっているそうです。コンビニから買ってくるだけでなく、簡単なものでよいので手作りだと真の愛情が伝わります。職員の皆さんからもぜひ伝えていただきたいと思います。</p>
<p>栗生田会長</p>	<p>三条市長が以前に言われていたことですが、子どもたちに良いものを食べさせ、味覚が育つことで健康にする。子どもが健康になれば、親も学ぶ。親が学べば地域が病気にならない。そうすると行政は医療費もかからず出費が少なくなる。出費が減れば行政はうまく回っていく、という長く広い視点で話をされており、感銘を受けました。市長のポリシーが現れているし、行政の意味での手塩にかけるという形になると思います。家庭での食育は当然ですが、行政として何ができるのかという観点も大事だと思います。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>小中学校で実施している弁当の日ですが、子どもが先日弁当を作りました。献立を考える際に、にんじんをゆでたまま入れると言っていました。以前下ゆでしただけの人参を食べたことがあり、甘かったことを知っていたようでした。弁当を作る機会がなければ、子どもが学ぶきっかけにならなかったと思います。ぜひ続けていってもらいたいと思います。</p>
<p>栗生田会長</p>	<p>それでは、他になければ、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>～しばらくして異議なし～</p>

栗生田会長	異議なしと認め、質疑を終了いたします。 以上で本日用意した内容はすべて終了しました。 これで平成23年度 第2回三条市食育推進及び農業振興審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。
-------	--

7 閉 会 (午後3時20分)

(福祉保健部長) 5月に審議会をお願いしますが、それまでの間に必要な資料等ありましたら、事務局に連絡いただきたいと思います。